

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アートネイチャー

コード番号 7823 URL <http://www.artnature.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 五十嵐 祥剛

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 井上 裕章

TEL 03-3379-3334

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	6,570	△2.6	107	△39.1	95	△63.6	38	△65.0
21年3月期第1四半期	6,746	—	176	—	263	—	109	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.32	2.31
21年3月期第1四半期	6.65	6.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	24,640	15,213	61.7	921.32
21年3月期	25,149	15,567	61.9	943.15

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 15,202百万円 21年3月期 15,559百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	15,078	1.5	1,193	△14.9	1,179	△25.3	620	△20.9	37.59
通期	31,606	1.9	3,574	11.8	3,600	2.8	1,947	10.7	118.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	16,503,300株	21年3月期	16,499,700株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,040株	21年3月期	2,040株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	16,501,260株	21年3月期第1四半期	16,432,013株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在までに入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に対する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、昨秋からの世界的な金融不安の拡大が実体経済に波及したことから、企業業績だけでなく、雇用不安や所得減少による個人消費の冷え込みも一段と深刻になってきており、先行きは依然不透明な状況となっております。

当社の属する毛髪業界におきましても、個人消費が厳しさを増す中、業界全体での売上高は、前年比減少しているものと推測され、競争環境はより一層厳しくなっています。

このような状況のもと、当社グループでは、当事業年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画で打ち出した重点戦略である、メンズ部門における「新規顧客数の増加と既存顧客の定着強化による安定成長の実現」、レディース部門における「顧客基盤の拡大とリピート率向上による2桁成長の継続」を実現すべく、新商品の市場投入、効果的なTV広告の実施、展示試着会の積極的開催等の諸施策を展開してまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結会計期間の売上高については、上記の我が国経済環境悪化に伴う個人消費の冷え込みによる影響を克服することができませんでした。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は6,570百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は107百万円(前年同期比39.1%減)、経常利益は95百万円(前年同期比63.6%減)、四半期純利益は38百万円(前年同期比65.0%減)となりました。

主要な商品・サービス別の売上高は次のとおりです。

(オーダーメイドかつら)

男性向けオーダーメイドかつらについては、本年2月に市場投入した「HFLフロンティア」の売上寄与があったものの、新規・リピートともに前年同期を下回ったため、売上高は2,630百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

女性向けオーダーメイドウィッグについては、本年2月に新商品「プリマドンナ」を市場投入し、展示試着会も積極展開いたしました。しかし、リピートは増加したものの新規の減少分をカバーすることはできず、売上高は1,785百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

(その他商品)

増毛商品については、男女ともに前年同期を上回ったため、男女合計の売上高は285百万円(前年同期比5.0%増)となりました。育毛商品については、女性向けが前年同期を上回ったものの、男性向けが前年同期を下回ったため、男女合計の売上高は68百万円(前年同期比27.6%減)となりました。

(サービス収入)

理美容サービス収入については、顧客数の増加にともない、男女合計の売上高は1,130百万円(前年同期比2.4%増)となりました。育毛サービス収入については、女性向けが前年同期を上回ったため、男女合計の売上高は348百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

[財政状態の変動状況]

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ509百万円減少し、24,640百万円となりました。これは現金及び預金の減少等により流動資産が335百万円減少したこと、及び投資有価証券の減少等により固定資産が174百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ155百万円減少し、9,427百万円となりました。これは前受金、賞与引当金が増加する一方、短期借入金等の減少により流動負債が4百万円減少したことに加えて、社債の減少等により、固定負債が150百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ354百万円減少し、15,213百万円となりました。これは主に、配当金の支払いを主因に利益剰余金が374百万円減少したことによるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、12,531百万円と前連結会計年度末比350百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益183百万円に加えて、減価償却費190百万円、賞与引当金の増加242百万円、前受金の増加236百万円等により701百万円の資金収入(前年同期は462百万円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出175百万円、保証金及び敷金の差入による支出86百万円等により268百万円の資金支出（前年同期は411百万円の資金支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済による支出300百万円、社債の償還による支出136百万円、配当金の支払額363百万円等により799百万円の資金支出（前年同期は545百万円の資金支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,518,116	10,869,476
受取手形及び売掛金	—	659,609
売掛金	520,599	—
有価証券	2,013,850	2,013,459
商品及び製品	483,021	528,420
仕掛品	27,642	29,341
原材料及び貯蔵品	345,260	368,464
その他	1,305,394	1,079,051
貸倒引当金	△1,626	—
流動資産合計	15,212,257	15,547,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,935,989	2,987,925
その他（純額）	1,891,835	1,902,819
有形固定資産合計	4,827,824	4,890,744
無形固定資産		
のれん	89,733	103,131
その他	680,174	695,485
無形固定資産合計	769,908	798,616
投資その他の資産		
その他	3,923,557	4,006,503
貸倒引当金	△93,276	△93,748
投資その他の資産合計	3,830,280	3,912,755
固定資産合計	9,428,013	9,602,116
資産合計	24,640,271	25,149,940

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,378	158,063
短期借入金	—	292,609
1年内償還予定の社債	490,000	422,000
未払法人税等	151,239	173,093
前受金	3,777,217	3,540,578
賞与引当金	1,034,309	791,956
役員賞与引当金	25,000	100,000
商品保証引当金	13,253	13,267
その他	1,647,141	1,768,794
流動負債合計	7,255,540	7,260,363
固定負債		
社債	—	204,000
退職給付引当金	1,180,902	1,132,093
役員退職慰労引当金	964,631	954,070
その他	25,947	31,810
固定負債合計	2,171,481	2,321,973
負債合計	9,427,021	9,582,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,997,495	2,996,955
資本剰余金	2,884,995	2,884,455
利益剰余金	9,356,194	9,730,413
自己株式	△562	△562
株主資本合計	15,238,121	15,611,261
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△617	11,102
為替換算調整勘定	△34,539	△62,525
評価・換算差額等合計	△35,157	△51,422
少数株主持分	10,285	7,764
純資産合計	15,213,249	15,567,603
負債純資産合計	24,640,271	25,149,940

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	6,746,949	6,570,162
売上原価	2,002,168	1,978,847
売上総利益	4,744,781	4,591,315
販売費及び一般管理費	4,568,158	4,483,698
営業利益	176,623	107,616
営業外収益		
受取利息	8,049	2,998
為替差益	—	9,407
受取販売奨励金	48,988	14,364
その他	62,123	14,539
営業外収益合計	119,161	41,310
営業外費用		
支払利息	5,311	6,559
投資有価証券評価損	—	40,911
貸倒引当金繰入額	21,418	—
その他	5,860	5,781
営業外費用合計	32,590	53,252
経常利益	263,193	95,674
特別利益		
固定資産売却益	208	316
投資有価証券売却益	—	93,949
貸倒引当金戻入額	772	471
特別利益合計	980	94,736
特別損失		
固定資産除却損	2,450	6,497
特別損失合計	2,450	6,497
税金等調整前四半期純利益	261,724	183,913
法人税、住民税及び事業税	38,127	143,940
法人税等調整額	115,437	1,608
法人税等合計	153,564	145,548
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,051	143
四半期純利益	109,212	38,221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	261,724	183,913
減価償却費	183,629	190,716
のれん償却額	19,155	13,158
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,573	1,155
賞与引当金の増減額 (△は減少)	262,021	242,312
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75,000	△75,000
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△292	△14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	40,307	45,136
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△143,686	10,561
受取利息	△8,049	△2,998
支払利息	5,311	6,559
固定資産除却損	2,450	6,497
固定資産売却損益 (△は益)	△208	△316
匿名組合投資損益 (△は益)	△6,069	△7,123
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△93,949
投資有価証券評価損益 (△は益)	△20,813	40,911
売上債権の増減額 (△は増加)	81,704	140,068
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,277	72,974
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,088	△40,939
前受金の増減額 (△は減少)	324,731	236,638
その他	△426,276	△138,464
小計	483,845	831,797
利息の受取額	5,768	2,998
利息の支払額	△3,753	△10,176
法人税等の支払額	△23,485	△122,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	462,375	701,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△226,613	—
有形固定資産の取得による支出	△164,956	△175,289
有形固定資産の売却による収入	—	426
無形固定資産の取得による支出	△46,508	△36,626
長期貸付金の回収による収入	674	1,810
敷金及び保証金の差入による支出	△14,672	△86,623
敷金及び保証金の回収による収入	31,723	27,933
匿名組合出資金の払戻による収入	8,834	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411,518	△268,368

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	52,200	—
短期借入金の返済による支出	△86,130	△300,229
長期借入金の返済による支出	△27,610	—
社債の償還による支出	△136,000	△136,000
株式の発行による収入	1,980	1,080
配当金の支払額	△349,691	△363,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△545,251	△799,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,101	14,818
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△514,494	△350,969
現金及び現金同等物の期首残高	10,976,249	12,882,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,461,754	12,531,966

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当連結グループは、毛髪関連事業を専門に事業展開しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。